

## 新潟県納税貯蓄組合総連合会優秀賞

### 命を守るヒーロー

新潟大学附属長岡中学校

三年 相澤 美結

私が小学3年生だった頃、祖父が救急車で病院に運ばれた。雪がたくさん降っている夜中、心臓に持病がある祖父が苦しそうに声を出していたことを今でも鮮明に覚えている。

お盆に親戚が集まったときに、その時の話をするのがあった。祖母から救急車は一回出勤する毎に四万五千円くらい費用がかかること、そしてそれには税金が使われていることを教えてもらった。幸い、処置が早かったため、祖父は今も元気で過ごすことができています。私はこれまで税金というと、「支払わなければいけない面倒くさいもの」というイメージしかなかったが、祖母の話聞いて税金に対する見え方が少しずつ変わり始めた。どのようなことに税金が使われているのか調べてみたいと思うようになった。

私が住んでいる長岡市は、新潟県内有数の豪雪地域としても知られている。冬になると、二メートル以上の雪が積もる地域もある。この雪から、私たちの生活や安全を守るために、消雪パイプや除雪車等が整備されている。このような除雪のために、新潟県は税金を活用して、令和五年度は一三二九億円の予算を組み対応にあたっていた。一人一人の力では、雪に対応することは難しい。でも、多くの人で協力し、税金と

いうシステムを使うことで私たちが暮らしやすくなっていると分かった。

私が生まれ育った長岡市寺泊地域は民間の調査で「一部過疎」とされていた。このことを母に伝えると、全国的に大きな市の中心部に人口が集中していることが問題となっていたことを聞いた。祖父が救急車に乗ったときのことを考えると、祖母が雪の降る夜中に病院へ連れていくことはたいへん難しかっただろう。人口が少ない地域でも、当たり前のように命を守るために、色々な仕組みが整っていること、それには税金が活用されていることが分かり、税金という仕組みによって祖父の命が繋がれたと考えるようになった。

地図帳で新潟県に関係のあるページをめくると、全国でも五番目に広い面積をもち、山間地や離島もある。広大な面積でも医療行為を必要としている人がたくさんいる。そこで、素早く病院へ運ぶために、新潟県ではドクターヘリが二機運航されている。ドクターヘリは、二〇二四年四月から六月までに四五一件の応需があり、多くの人の命を守ることに繋がっている。このドクターヘリにも私たちの税金が使われている。

今回、税金について調べてみて、税金は、目立たないけれど、私たちの生活を支える存在であると考えた。命を守り、たくさんの人を笑顔にする税金を今ではとてもかっこよく感じる。これからもたくさんの方々の笑顔の花が咲くように、私もしっかり勉強し、社会人になったら税金を納め、社会に貢献できる大人になりたい。それが多くの人の命を守ることに直結していることが分かったからだ。税金は大切な人の命を守るかっこいいヒーローだ。